第２学年○組　道徳授業案

授業者　○　○　○　○

１　題 材 名　ここを走れば（出典：きみがいちばんひかるとき　光村図書）

２　内容項目　Ｃ　遵法精神、公徳心

　　　　　　　　法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努める。

３　本時の授業

　(1) 目標

　　　父の行動から法律やきまりの意義について考え、法律や規則を守ることの大切さに気づくことができる。

　(2) 本時の主体的・対話的で深い学びについて

　 　誰もが法律やきまりを守らなくてはいけないとわかってはいるが、自分の都合を優先させたいという心の弱さは存在する。この資料では、法律を破ってでも路側帯を走るべきだったのではないかと考える「僕」と、法律を守り通した「父」の姿に着目させて法律の意義について考える。意見発表の中で議論することで新たな考え方に気づき、自分の考えをさらに深めさせたい。

　(3) 準備　資料「ここを走れば」、学習カード

　(4) 過程

教師の支援

生徒の活動

体的・話的・い学び

・自分の考えをきちんともち、話し合いができるよう、考えをまとめる時間を確保する。

()

・違う意見が出たり、反対意見が出たりした場合は議論させ、新たな考え方に気づかせる。

()

・今後、日常生活に起こりうることと感じさせるために、父の立場を自分に置きかえて考えさせる。　　(、、)

・法律を守ることの大切さに気づけた生徒の感想を広める。

（)

父の目から涙がこぼれていくのを見て、僕はどう思ったと思いますか。

祖父の性格や現在の況などをしっかりと把握させて考えさせる。

**課題の設定**

法律を守るってそんなに大切なことなのか。

人に迷惑をかけることを嫌うおじいさんの教えから、法律を守ることの大切さを、父は忘れていなかったんだ。

全体に発表する

グループで意見発表を行う場を設け、自分の考えを広めたり、級友の意見を聞いて改めて自分の意見を考え直したりして、考えを深めさせる。

**課題に迫る**

あなたが父の立場ならどうしますか。

人に迷惑をかけてはいけないという祖父の思いを大切にしたいし、法律は守らないといけないので、路側帯は通らない。

生きている祖父に会いたいので法律を破ってしまうかもしれない。

**学びを深める**

法律やきまりがなぜあるのかを考え、日常生活に置きかえて振り返らせる。

本時の感想を書く

(5) 評価

法律の意義について考え、法律や規則を守ることの大切さに気づくことができたか、学習カードや発言の様子から判断する。